

議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 中澤福美

農作業の合間のひとやすみ

- 審議議案 9月定例会について …………… 2～3
- 一般質問 9人の議員が質問 …………… 3～9
- 議会報告会・議会日誌 …………… 10

9月定例会

9月定例会を9月9日から18日の10日間開催しました。令和元年度の各会計決算認定をはじめ、条例案件2件、契約案件2件、予算案件4件、人事案件2件が提案され、報告1件がありました。決算認定については決算特別委員会に付託して慎重に審議を行い、全ての議案は原案通り可決されました。また、9人の議員から一般質問がありました。

審議した主な議案

補正予算

一般会計(第4号)
追加補正予算額
1億6152万円
(総務費)

Web会議システム事業
182万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、Web会議の機会が増えたため、タブレット端末を整備するための購入費です。

小豆島地域公共交通
協議会負担金
138万円

小豆島地域公共交通協議会への負担金です。小豆島の公共交通について見直しを行います。

(民生費)

地域密着型サービス等
整備事業補助金
4264万円

介護事業者が池田地区に職員用の宿舎を整備するための補助金です。

(衛生費)

医療提供体制確保補助金
6143万円

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れなどの影響により、収益が悪化した小豆島中央病院への補助金です。

(土木費)

港湾維持修繕工事費
1410万円

草壁港湾区域の国道拡幅工事に伴い、私有地に埋設されていた排

水路を公共用地へ布設替えるための工事費です。

(教育費)

壺井栄文学碑造成工事費
1269万円

壺井栄文学碑の敷地が、風雨により傷んできたための改修工事費です。



壺井栄文学碑

一般会計(第5号)
追加補正予算額
3135万円

(衛生費)

予防接種業務委託料
2993万円

生後6カ月から中学校3年生までおよび年度末までに60歳以上となる人のインフルエンザ予防接種が無料となります。

予防疫種助成金
60万円

島外の医療機関で予防接種を受けた場合、いったん全額をお支払いしていただいたのち、その費用の一部を補助するものです。

介護保険事業特別会計(第1号)
642万円増の21億1637万円となりました。主な要因は前年度事業の精算に伴い、差額を国へ返還するものです。

介護サービス事業

特別会計(第1号)
205万円増の7059万円となりました。主な要因は新型コロナウイルスの感染対策としてマスクやアルコールなどの消耗品の購入費です。

条例の改正

斎場条例
吉田斎場の廃止に伴い改正します。

教育集会所条例

福田教育集会所の廃止に伴い改正します。

物品購入契約

●事業名
GIGAスクール学習用コンピュータ等機器整備事業

相手方

リコージャパン(株)

販売事業本部

香川支社香川営業部

契約金額

4200万円

児童生徒の情報活用能力の育成のため、タブレット端末を整備します。

●事業名

池田小学校
空調設備設置事業

●相手方

森上電気工事(有)

小豆島町営業所

●契約金額

699万円

池田小学校内の特別教室5部屋に空調機器を整備します。

人事案件

人権擁護委員

前任者の任期満了および辞任の申し出により、新たに濱野守氏、増田寿美子氏を人権擁護委員として適任との答申を行いました。



増田寿美子氏(安田)



濱野 守氏(池田)

財政健全化法に基づく健全化判断比率の4指標と、介護保険施設事業の資金不足比率について、全ての値において健全な状態であると報告されました。

町の収入に対する借金返済額の比率である実質公債費比率が0.1ポイント悪化の6.1%となっていますが、その主な要因は小豆島中央病院の元金償還に対する公債費負担が増となったことによるものです。



決算特別委員会

9月11日～16日にかけて開催し、次の意見を付して認定しました。

【税務課】

- ・徴収率が改善されていることは評価できる。今後、さらなる徴収率向上のため口座振替の推進を図りたい。

【こども教育課】

- ・奨学資金貸付金返還金について未納額が増加傾向にある。適切な管理を行い、積極的な未納対策に努められたい。
- ・認定こども園について、適切な教育環境を提供できるよう計画を推進されたい。

柴田 初子（6P）

- 子宮頸がん予防ワクチン接種の判断できる環境づくりを

浜口 勇（4P）

- 新型コロナウイルスの影響下で町関連事業への今後の対応は

森 崇（7P）

- 運動公園野球場の改善は
- 豊かな瀬戸内海の再生を
- 高速艇運休問題は
- がん検査協力医療機関は

森口 久士（4P）

- 有害鳥獣の処理に関して

大下 淳（5P）

- 災害対応基金の設置を

鍋谷真由美（8P）

- 新型コロナウイルス検査体制は
- 子どもの権利保障と虐待対策は
- 少人数学級の実施を

安井 信之（5P）

- 総合戦略の整合性は

大川 新也（9P）

- 急ぐべきでは、学習環境の整備
- 交通弱者への夜間対応は
- 戸別受信機に対する考え方は

中松 和彦（6P）

- ナラ枯れ被害の現状と対策は
- コロナによる町財政への影響は

9月定例会一般質問



浜口 勇 議員

新型コロナウイルスの影響下で 町関連事業への今後の対応は

町「島民の生活や経済活動に 欠かせないので支援も検討する」

質問 新型コロナウイルスの小豆島町の3財団、小豆島中央病院および小豆島オリーブバス(株)への影響と、今後の対応をどうするか。民間の観光関係企業などの対前年比はどうか。

小豆島オリーブバス(株)も2町と島民が力を合わせて設立した路線バスの会社であり、島民と観光客の足として欠かせない公共交通である。必要ならば支援を2町で協議していく。町出資の3財団は島の主要観光施設として多くの観光客をお迎えしており、他の観光関連事業への波及効果も大きく、雇用の場としても重要である。

答弁 緊急事態宣言は一時全国へ拡大されたが現在は解除されている。しかし今なお全国で感染拡大の状況である。町内の事業所は当面厳しい経営状況が続くと予想される。

小豆島中央病院は土庄町と2町で開設したもので、地域医療には欠くことができない医療機関であるので、いかなる状況になっても守らねばならない。



新型コロナウイルスによる影響は



森口 久士 議員

有害鳥獣の処理に関して

町「新たな処理方法の導入に についても検討したい」

質問 現在、捕獲したイノシシ、シカなどを建設中の最終処分場近くの町有地に埋設している。処理方法に限界があるのでは。

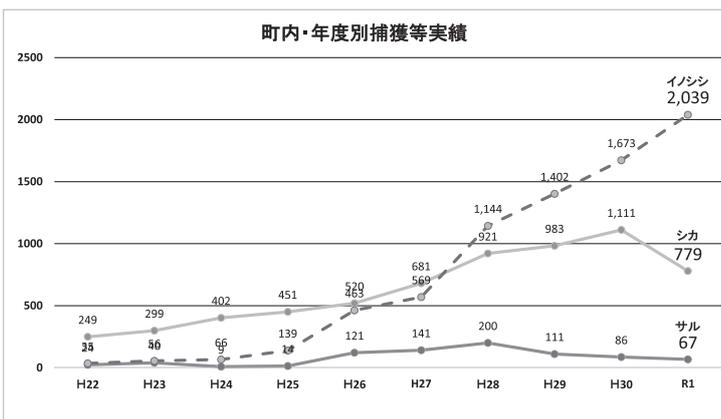
小豆島クリーンセンターでの焼却処分も検討されているが、炉の投入口の大きさ、燃焼などに問題があると聞く。設備改良までには時間がかかるのでは。

地元地区との話し合いも必要と思うが、吉田斎場の条例廃止の案を機に、試験的に有害鳥獣の焼却ができないか。

答弁 処分に関しては、法令及び環境省が示す指針に照らし適切に行われているものの、有害鳥獣被害の収束に見

通しが立っていない。当分の間、埋設処分を継続する。臭気の発生防止など周辺環境への負荷軽減を考慮する。廃止予定の火葬施設の転用に関しては、技術的な観点から実現は困難である。

駆除動物の処分に関して行政課題であると認識しており、減容化などの中間処理や再生利用についても検討を進める必要がある。



一般質問



被災の様子



大下 淳 議員

災害対応基金の設置を

町「国、県の補助金があれば
前向きに検討したい」

質問 いまだ収束のめどが立たない新型コロナウイルスにウイルスに見られるように、人類の歴史は災害との戦いであると云えるものである。

答弁 小豆島町では災害による町税等の減収や緊急の財政出動に対応するため財政調整基金を設置している。

再質問 財政調整基金だけでは難しいのではないか。災害対応は避けて通ることが出来ず、しかも待ったなしの非常事態である。住民の命と暮らし、財産に関わる大きな問

題である。資金はいくらあっても十分とは言えないことから、少しでも早く継続的に積み立てを行っていくべきではないか。

答弁 災害対策基本法第101条では地方自治体は別に法令で定めるところにより災害に対する基金を積み立てなければならぬとされているが、



安井 信之 議員

総合戦略の整合性は

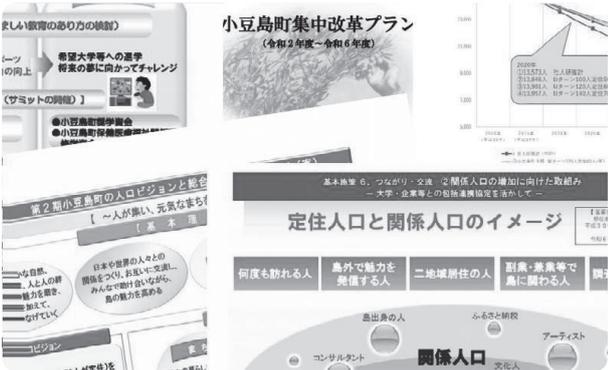
町「制度を利用して
いただきたい」

質問 移住政策において、子育て支援政策の奨学資金貸付制度が享受できない。U・I・Jターナーには適用できない場合がある。

答弁 各奨学資金があれば、移住するかというのは、不透明な部分だ。あくまでも奨学資金については、町内の子育て支援ということ

再質問 人口が減って、奨学資金貸付制度を利用する生徒が減少する中で、移住対策に重点を置くのなら、積極的な姿勢を示していかないと、この人口減の問題に対処することはできないのでは。

答弁 本年3月に人口ビジョンの見直しとともに、第2期総合戦略を策定し、人が集い、元気なまちを目指して、健康・福祉のまち、産業のまち、定住・交流のまち、教育・文化のまち、行財政改革の5つを基本戦略のテーマとし、様々な施策を進めている。



総合戦略について



中松 和彦 議員

ナラ枯れ被害の現状と対策は

町「県の指導の下、防除事業に取り組む」

質問 ナラ枯れの被害が確認されて、さほど月日は経っていないが、橋峠を中心に被害が拡大している。早急な対策が必要では。

昨年8月、安田地区等を確認され、香川県指導の下、本年5月まで、伐倒薫蒸・立木薫蒸という対策を計457本に実施し対策を終えた。

しかし、なお被害の拡大が確認されており、県の具体的指導の下、

防除事業に取り組んでいきたい。



穴をあけて薫蒸剤を注入している様子

コロナによる町財政への影響は

町「国・県へ支援の充実を要望しながら、あらゆる手段を講じ危機を乗り越えたい」

質問 コロナの影響により、4-6月期のGDPは著しく下がったと報道されている。今後、小豆島町財政への影響は。

める地方交付税だが、令和3年度以降の見通しが立たず、香川県市町会と町村会から財政措置の要望を総務省へ提出している。

コロナによって執行できない予算の活用できない予算の活用

ど、さらに予算の適正な執行に努めていきたい。来年度以降の見通しが立たない中、各種支援策・地方債・基金等あらゆる手段を講じ、この危機を乗り越えていきたい。



柴田 初子 議員

子宮頸がん予防ワクチン接種の判断できる環境づくりを

町「接種の機会を確保したい」

質問 子宮頸がんは、子育て中の女性が、幼い子どもを残して亡くなるケースが多いことから、マザーキラーとも呼ばれている怖い病気である。

予防接種、乳幼児健診、一般健康診査は予約制とし、十分な間隔を空け、個別検診に近い形で実施している。

答弁 ワクチンの意義、効果と接種後に起こり得る症状について、ホームページに掲載した。

特定検診については、11月10日から7日間の日程で、集団検診を予定しているが、できる限り3密を回避したいことから、医療機関での受診を呼びかけている。

国は自治体によるワクチン接種の積極的勧奨の差し控えを行い、すでに6年以上が経過している。

町では、対象者への通知はどのようにして

A類定期接種ワクチンであるにもかかわらず、個別通知をしていない自治体は少ない。近年では保護者に通知を出したり、有効性やリスクなどを書いたリーフレットを作成したりするなど自治体独自の取り組みが広がっている。

町では、対象者への通知はどのようにして



運動公園野球場の改善は

町「随時、点検や修繕を行っていく」



森 崇 議員

質問 野球場の管理が不十分でないか。あの場所は風が強く傷みやすい場所である。以前ベンチがずいぶん傷んでいたことがあった。実態把握や改善計画を知りたい。

答弁 安全で楽しめる場を提供するために維持管理をしている。海からの強風で黒土が減少し利用者から改善の要望があった。定期的な改修をしており、先日も内野のベースを新しくした。随時、点検や修繕を行っていく。



運動公園野球場

豊かな瀬戸内海の再生を

町「後世に継承すべきだが一朝一夕には解決できない」

質問 瀬戸内海をきれいにすることは小豆島町だけではできないとの考えは正しいと思う。豊かな海を求めて兵庫県のみん石市、淡路市など9漁協が海の栄養回復対策に取り組んでいるニュースを見た。約70隻が「海底耕うん」

質問 4年前からの課題であり事実はずっと切実になっていると思いい質問する。町民からも「いつまで遠回りさせるのか」と言われる。以前県に要請した時「なぜ草壁港と池田港と土庄港から高松に来ているのですか。土庄港だけで良いでしょ

う」との答弁でしたが実態を言うと「私は来るのだけ見て帰るのを見ていなかった」と島の実態を分かってくれた。以前、細田衆議院議員は「航路も道路だと思っって航路にも補助金を」と国会で質問した。また以前、阪神航路が問題になった時、

答弁 貴重な漁業資源の宝庫、恵まれた自然環境として後世に継承すべきだが一朝一夕には解決できない。町も海底堆積ゴミ回収やカワウの駆除、種苗放流事業の支援をしている。また水産出前授業など各種イベントも実施している。若手漁業者とも連携してい

高速艇運休問題は

町「航路継続運航を要望している」

旧内海町議会として「島しょ部の航路支援を求める意見書」を国に提出した。沖縄に近い十島村は昭和8年に「汽船も亦道路なり」と捉えている。道路など、ライフラインを守る決意を大切にしてほしい。草壁地区の要望の内容は。

答弁 現在は高速艇のみならず、草壁、高松間航路存続にかかる事態になっている。航路は道路で草壁高松航路は古い歴史と愛



就航した新ブルーライン

着もあり生活航路である。町として関係機関と連携をとり航路継続運航を要望している。海上交通の重要性は理解している。草壁地区からの要望は「航路存続」であった。

がん検査協力医療機関は 町「どの病院でも検査できる」

質問 県には800の病院があるそうだが小豆島にはがん検査協力病院が少ないと聞いた。死亡原因1位はがんだ。実態は。

答弁 「がん検診」ほどの病院でもできる。十分な経験と技術を持った医者がある。来年度の4月から小豆島中央病院も協力病院として登録される予定だ。

一般質問

子どもの権利保障と虐待対策は

町「健康づくり福祉課を窓口に関係機関と連携している」



鍋谷真由美 議員

質問 子どもの権利条約第12条は、子どもは自分の意見を自由に表し、きちんと聴かれる権利を持っているとうたっている。権利条約の視点をコロナ対策に取り入れるべきであり、全ての子どもたちの多様な育ち、学びを保障し、格差を生まない対策なども急がれる。

答弁 年1回、子ども議会で質問や意見を聞いている。学習上の格差が生じないように加配教員を配置し、スクールカウンセラーなどが相談に乗っている。児童虐待の相談窓口は健康づくり福祉課で、県子ども女性相談センター、小豆保健所など県内の関係機関が連携し、早期対応、継続支援に努めている。虐待を受けた子どもの長期的支援策を、地域社会でつくっていくことが課題である。

新型コロナウイルス検査体制は

町「大規模にできる体制にはない」

の取り組みの現状と今後の課題は。

質問 新型コロナウイルスの感染急拡大抑止のためには、PCR検査などを大規模に実施し、陽性者を隔離・保護する以外にないと考える。検査体制の現状は。

答弁 PCR検査は、医療機関で検体を採取し、香川県環境保健研究センターでウイルス検査を実施している。小豆島中央病院内でPCR検査を行える機器整備が進められる予定。これは感染症が疑われる場合に、迅速に処置することが目的で、限られた人員で島の医療を担う小豆郡では、予防、スクリーニング的なPCR検査を大規模にできる体制にはない。予防対策徹底の啓発に努めたい。



国保税は26人、介護保険料は16人を減免している。状況を注視し、さらなる支援が必要な場合は適宜検討したい。

少人数学級の実施を

町「35人学級は実現している」

質問 コロナ禍の中、子どもたちは、かつてない不安を抱え、学びの格差も深刻だ。また、感染拡大防止の点でも、現在の40人学級は無理がある。子どもへの手厚く柔軟な教育と、感染症対策のためにも、少人数学級は待ったな

答弁 35人学級は実現している。池田小6年は30人超だが、国語と算数は2つの教室に分かれて少人数での授業をしている。



授業の様子（池田小6年）

急ぐべきでは、学習環境の整備

町「9月末までには設置完了」



大川 新也 議員

やはり子どもたちのことを考え、急ぐべきものは急いで対応すべきではないか。経過また進捗状況は。

質問 7月の臨時議会で承認された「保育・学習環境の整備」への補正予算。内容は小・中学校にコロナ感染防止のため、網戸や空気清浄機を設置する。

また夏休み短縮や少人数授業への対応のため、幼保・小学校空調未設置教室への空調機器を整備するものである。夏休み授業再開前日に4小学校を訪問し、設置状況を確認したところ大部分が未設置または工事中であった。再度月末の確認時には池田小学校は9月本議会まで工事中断とのことであった。猛暑の中で授業を再開させるのか。

答弁 空調設備については、議会承認後、入札、落札業者決定、機器発注、工事となる。当然、早く設置したいが、メーカーによっては長期の盆休みにより納品遅れなどの事情があった。

現在の進捗状況は、苗羽小・苗羽幼は設置完了し、27日から稼働。星城小は9月10日から稼働。星城幼は電力設備工事の関係で9月末稼働。

その他は機器入荷が遅れているが、工期の9月末までには設置予定である。池田小は予定価格が高額となったため本議会での承認後早急に設置する。

交通弱者への夜間対応は

町「緊急避難的な対応策を今後調整」

対応策を今後調整

質問 昨年12月、路線バス運行関連での質問時に「交通弱者への対応は地域資源であるタクシーを活用し、困難を乗り越えたい」との答弁があった。

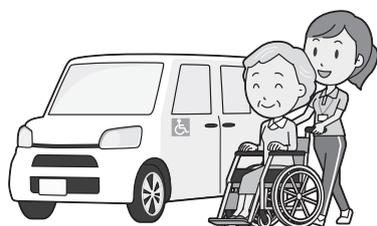
しかし、先日高齢者が夜間急病のためタクシーにて病院へ。処置後帰宅するのに交通の便に困ったとのこと。

現在コロナ感染防止による営業制限のため島内2社のタクシー会社は午後9時以降の営業をしていない。町として夜間の交通弱者への対応は。

また夜間営業可能な介護タクシー利用への周知はできているのか。

答弁 指摘の通り、民間タクシーは午後9時までの営業である。このため、小豆島中央病院では、深夜でも利用可能な介護タクシー事業者の情報提供を行っている。また、どうしても確保困難者へは緊急避難的な対応策を今後検討・調整を行っていききたい。

今後住民への周知に努めたい。



戸別受信機に対する考え方は

町「災害・行政情報を迅速に伝達」

迅速に伝達

質問 9月町広報紙で「戸別受信機の使用に関するお願い」が掲載されていた。ほぼ毎日朝夕に町からの情報伝達に使用されており、中には同一内容が何度も放送されている場合もある。

町民からは耳障りとの声も聞かれるが、放送の内容制限と受信機のメンテナンスへの対応は。

答弁 防災行政無線は災害や行政一般に関する情報の収集および伝達をするために設置している。

放送内容については、各課からの原稿をチェックし、簡潔に回数も少なく調整している。メンテナンスは各家

庭の不具合等の問い合わせに対して職員が直接出向き対応している。



戸別受信機

議会報告会の開催について

小豆島町議会では初めての試みとして、9月議会で行った一般質問などについて、住民の皆様には議会報告会を開催します。

事前申し込みは必要ありません。また、お住まいの地区に関係なく、どの会場にも自由に参加できますので、興味のある方は新型コロナウイルス対策に配慮してご参加ください。

(1) 開催日時および会場

番号	日 時	会 場 名	室 内 名
1	11/16(月) 午後7時～	苗羽公民館	1階 軽スポーツ室
2	11/17(火) 午後7時～	安田公民館	2階 大広間
3	11/19(木) 午後7時～	草壁公民館	2階 広 間
4	11/20(金) 午後7時～	イマージュセンター	1階 視聴覚室

(2) 備 考

- ・議会日より〔No.58〕をご持参ください。
- ・新型コロナウイルスの状況により、急きょ中止する場合があります。
- ・マスクを着用のうえご参加ください。



全員協議会

9月2日に全員協議会を開催し、議会報告会について協議を行いました。

9 月	8 月	7 月
29 18 16 日 日 日	28 17 日 日	14 9 日 日
四国四県町村長・議長大会 第3回定例会(2日目) 決算特別委員会 議会運営委員会 決算特別委員会 決算特別委員会 決算特別委員会 小豆島中学校視察 第3回定例会(1日目)	小豆郡町議会議長会 全員協議会 議会運営委員会 全員協議会	香川県町村議会議長会定例会 小豆郡町議会 第2回臨時会 議会活性化特別委員会 広報編集特別委員会 広報編集特別委員会

議会日誌

7月～9月までの主な議会活動についてお知らせします。

編集後記

押し寄せるコロナ禍の中で一変してしまつた今年の夏風景。半年、一年ぶりの再会も果たせぬままの孫たちの笑顔。滞つた人々の往来、伝統行事、親しき友との語らい、当たり前前の出来事が当たり前でなくなつた現実。変貌著しい生活環境に、今こそ前向きな心を共々、育てたいものです。涼風の下、裏の畑の竿先に赤とんぼが止まっています。懐かしい人々との穏やかな年の瀬を、強い心をもって迎えたいものです。

森 弘章 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL(0879)82-7060 FAX(0879)82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp